

大連市における節水型住宅設備機器の普及

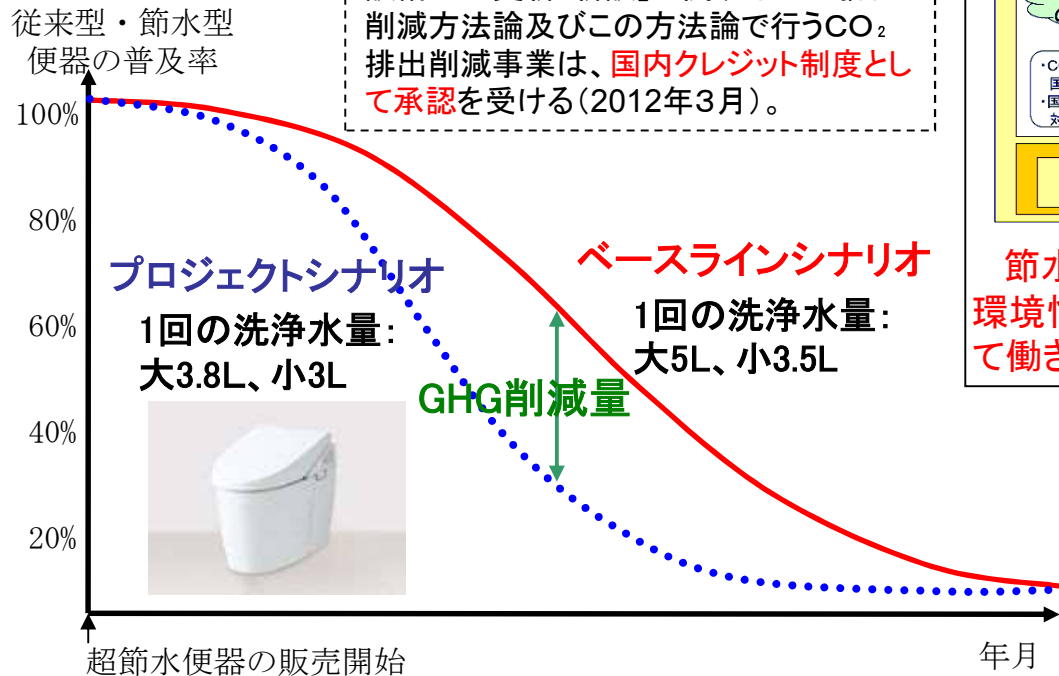
TOTO(株)(国際的に活躍する住宅設備機器メーカー)

環境省「新メカニズム実現可能性調査」(2011年度)⑤

調査事業の内容

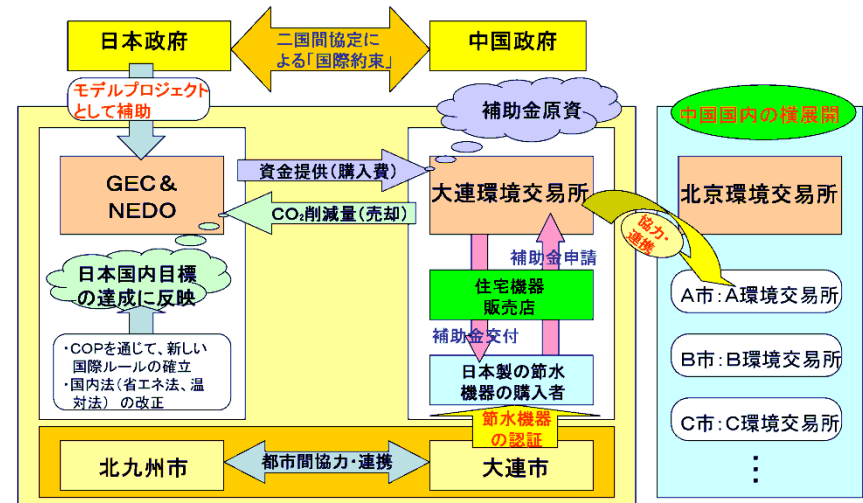
- 水由来CO₂排出削減量の測定方法の構築
- 二都市間・二国間でのクレジット化検討
- 節水機器の普及施策の導入検討

TOTOが提案する「節水型水まわり住宅設備への更新・新設」に関するCO₂排出削減方法論及びこの方法論で行うCO₂排出削減事業は、国内クレジット制度として承認を受ける(2012年3月)。



大連市内の浄水場(9施設)、下水処理場(10施設)を対象に水処理量とエネルギー使用量(電力とディーゼル)を調査: 水由来排出係数: 1.11kg-CO₂/m³

提案: 日中間クレジットスキーム案



節水やCO₂削減の効果が明らかになったことを踏まえ、環境性能認証や補助金の制度創設を政府間交渉を通じて働きかけ、節水機器の普及促進を図る。

超節水便器



節水シャワー

- 大連市全体のGHG削減ポテンシャル 15,622 t-CO₂/年
- 大連市全体の節水ポテンシャル 14,073,600 m³/年
- 1台当たりのGHG削減ポテンシャル 1,735 kg-CO₂/年
- 大連市全体のGHG削減ポテンシャル 3,509,111 t-CO₂/年